

ツゲノメイガ

春～秋にツゲの葉を糸で綴って食害するイモムシ（幼虫）。最大長約35mm。体は黄緑色，黒い縦縞や斑紋がある。頭は黒い。

【学名】 *Glyphodes perspectalis*

【分類】 チョウ目（Lepidoptera），メイガ科（Pyralidae）

【生態】

クサツゲやヒメツゲにつく。イヌツゲやツルツゲにはつかない

幼虫は春から秋の間に2回発生する。小さな幼虫で越冬する。春に葉を食害して成長，枝上で蛹になる。小さな幼虫で越冬する。

【被害と防除】

庭などでしばしば多発し，ツゲを枯らすことがある。

幼虫の食害部位はうす茶色の葉が糸で綴られている。うす茶色の葉を目印に幼虫を探し取り除いて駆除する。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ツゲノメイガ meiga/tugenome/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/10/21.